

## 第14 回講座

---

# ボランティアについて



パークレンジャー養成基礎研修

---

2022/10/30

NPO法人日本パークレンジャー協会

# 1. ボランティアとは

- Volunteerとは：

志願兵

義勇兵

篤志家

自発的に働き活動する人 のこと

中世の騎士団や十字軍など宗教的な団体の活動に起源

- 語源はラテン語の 自由意志 「voluntas」

「種をまかないのに自生してきた植物」の意味もある



ボランティアとは自立した人

## 2. ボランティア活動の四つの原則

1) 自ら進んで行動する……

**自主性・主体性**

\* 自己責任で他者から強制されない

2) とともに支え合い学びあう……

**社会性・連帯性**

\* 自分の役割を果たし互いに支える

3) 見返りを求めない……

**無償性・無給性**

\* お金や名誉、地位は求めない

4) より良い社会を造る……

**創造性・開拓性・先駆性**

\* 自ら課題の解決策を考え実践して行く

## 3. ボランティアの必要性

### 1) 今の社会システムの限界

現代のように多様化した社会では、様々な課題に対して行政や企業の活動など、今までの社会システムでは対応しきれない

環境問題:自然の破壊や災害/種の絶滅、社会:高度情報/格差/非正規/自国優先、人間関係:いじめ/虐待/孤立死…)

### 2) ボランティアは社会の担い手

多様化した社会には、自由な発想に基づく様々な分野のボランティアが社会を支える

### 3) 高齢化社会と生きがいや自己実現の場

\*これまでの経験を生かして社会に貢献する場

\*活動する楽しさ、人とふれあう喜び、自己実現、生き甲斐

\*上下関係や肩書きの無い自由な人間関係

## 4. ボランティアは誰のためにやる？

- ボランティアは

「困っている人を助けてあげる人」のイメージがあるが...

人は何かをしてあげると言うよりは、自分が何かをして人が喜んでくれていると思う時に満足感を得る

「ありがとうの言葉」、「人とつながっていると感じる時」

「自分をやる気にさせてくれるもの」....

- ボランティアの活動は

人を助けるつもりが自分が助けられている  
やり甲斐や生きがいにつながっている  
好きで楽しいことは続けられる

結果的にボランティアは自分のためにやると言っても良い

## 5. ボランティアの責任

- ボランティアでも事故や怪我が起これば過失責任が問われる

野外活動では

- ①危険の予知をする(下見で不安全を調べる)
- ②危険を取り除く(安全対策をする)
- ③安全行動への注意と監督をする

- ボランティアは自由意思の活動だが社会的責任がある

約束や時間を守る、自分の役割を果たす、自立(自律)する...

- コンプライアンス:ルールを守って行動する(活動中は公人)

活動目的の理解/人を尊重/個人情報守秘/安全の優先..

## 6. さいごに

ボランティア活動は個人の自由意思に基づいてするものですが、一人だけでは何もできません

年齢・性別・職業の差を越えてお互いにつながり、考え、学び、協力して成長することが大切です

**ボランティアは 楽しく 気長にやる**

- ①自然を知ることを楽しむ
- ②人に伝えることを楽しむ
- ③思いを形にすることを楽しむ
- ④仲間と活動することを楽しむ

**好きでやっていることが世の中の役に立てば良い**